

きょうも元気に！

日本共産党 京都市会議員

《活動報告 News》



河合ようこです。

NO. 270

2017年11月26日

日本共産党西地区委員会

311-4704

西京生活相談所

392-3546

ホームページ

<http://kawai-yoko.jp/>



(民泊)条例

市民のくらしと宿泊者の安全の確保を 日本共産党議員団が提案。市に申し入れ

意見を募集する予定です。

住宅宿泊事業法制定に伴い
京都市は2月市会に市の条例
を提案する方

高齢者の外出に役立つ「市
民の宝・敬老乗車証を守れ」
「福祉を充実せよ」とアピール

その後、市役所周辺をパレード
し、「応益負担制度にするな!」
「高齢者の外出に役立つ・市
民の宝・敬老乗車証を守れ」
「福祉を充実せよ」とアピール

を堅持し充実することを求める署名1809筆を新たに京都市に提出(第1次)。署名は合計3万5066筆になりました。署名提出前には市役所前で集会を開き、

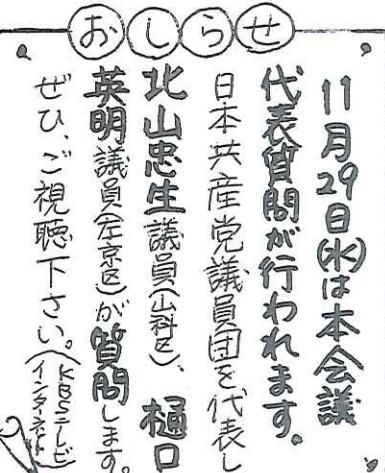


11月16日、現行制度
を守ろう・連絡会は、
「敬老乗車証を守
ろう!連絡会」は、

3万5千筆超の署名提出!
敬老乗車証を守ろう・連絡会



乗る度に負担ね
ことになる応益負担
でなく、今応益負担
の継続を止めます!



11月29日(水)は本会議
代表質問が行われます。
日本共産党議員団を代表し
北山忠生議員(山科)、樋口
英明議員(左京区)が質問します。
ぜひ、ご視聴下さい。(イニシアチブ)

敬老乗車証市民アンケート
市のまとめ・結論に異議あり
京都が11月8日に公表
した敬老乗車
証制度の現状
と課題に関するアーケートの
結果のまとめ



意見が多くた」という主旨の説明がされました。しかし、アーケートは制度の内容や応益負担への変更の賛否を問う内容ではなく、集計のやり方も、市の負担を「誰がよい(37%)」と「減らした方がよい(41%)」と「減らした方がよい(33%)」をまとめて「現状より増やさない方がよい」が79%と強弁するなど極めて意図的です。議員団は、この市の姿勢を問題だと指摘し、市民の願いに応え、現行の敬老乗車証制度を守り存続させるべきとの見解を発表し、11月29日保健福祉局長に申し入れました。

11月4日に条例制定を示す骨子案を示し、12月に市民の骨子案を示す立場で厳しい規制条例を作ることを党議員団は提案しています。(上の方は産業観光局に申し入れを行っているところです)

みんなさんの声で前進.....



くらし・子育てなど、何でもご相談ください。TEL 392-3546 西京生活相談所まで。
(市バス 橿原水郷町バス停面)

